

○入院のみ 外来のみ 共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	軟部腫瘍	ヨンデリス	○日常診療	術前化学療法	21日間
			臨床試験承認済・審議中	術後補助療法	
			治験承認済・審議中	○進行・再発	予定総コース
		その他( )		PDまで	

☆上記のうち該当箇所には○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1,8など)	投与経路
1	生理食塩液	500mL	24時間	d1	主管(CV)
2	アロキシ Dex	1A 5A			
	生理食塩液	100mL	15分	d1	側管(CV)
3	ヨンデリス	1.2mg/m2			
	生理食塩液	500mL	24時間	d1	側管(CV)
			0.25mg製剤5mL、1mg製剤20mLで溶解(0.05mg/mL)		

留意点および急性期有害事象等	<p>&lt;投与基準&gt;  <b>※本剤は中心静脈カテーテル又はポートからのみ投与。末梢静脈からは投与しないこと。</b>          Neutro<math>\geq</math>1500mm<sup>3</sup>、Hb<math>\geq</math>9.0g/dl、PLT<math>\geq</math>100,000/mm<sup>3</sup>、T-Bil<math>\leq</math>1.5mg/dl、AST、ALT、ALP、CK<math>\leq</math>施設基準上限2.5倍、Ccr<math>\geq</math>30mL/min、Alb<math>\geq</math>2.5g/dL</p> <p>&lt;有害事象&gt;G3以上          白血球減少(55.6%)、好中球減少(66.7)、発熱性好中球減少症(13.9%)、貧血(19.4%)、悪心(8.3%)、AST/ALT上昇(61.1%/41.7%)、</p> <p>&lt;減量基準&gt;          1段階減量:1.0mg/m<sup>2</sup>          2段階減量:0.8mg/m<sup>2</sup>  <b>【減量基準】</b>          ・好中球:500/mm<sup>3</sup>未満が6日以上持続する。又は500/mm<sup>3</sup>未満で発熱、感染を伴う          ・血小板:25,000/mm<sup>3</sup>未満          ・総ビリルビン:1.5mg/dL以上          ・AST/ALT:投与後21日目以降に施設基準値上限の2.5倍を超える          ・ALP:施設基準値上限の2.5倍を超える          ・非血液毒性:grade3以上</p> <p>&lt;その他注意&gt;          ・本レジメンは中等度催吐性リスクに該当する。          ・アプレピタンの使用により(CYP3A4阻害)により本剤の血中濃度が上昇するので注意する。          ・溶解から30時間以内に投与を終了すること。          ・他の薬剤と配合または同じ静脈ラインでの同時注入は避けること。(溶解・希釈は生理食塩液のみ)</p>
----------------	---

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Kawai A et al.Trabectedin monotherapy after standard chemotherapy versus best supportive care in patients with advanced, translocation-related sarcoma: a randomised, open-label, phase 2 study.Lancet Oncol. 2015 Apr;16(4):406-16.</li> </ul>
------	---

夜間, 帰宅時, 対応医師への連絡先	整形外科病棟 (3543)
--------------------	---------------